

# 今がんばっています

高千小学校

高千小学校では、いじめ・不登校を生まない学校づくりに向け、児童が主体的に活動し、豊かな社会性を身に付ける取り組みを行っています。「ふわふわ言葉であったか笑顔！みんな幸せ元氣100倍」のスローガンの下、さまざまな教育活動を行っています。

## 1 高千っ子祭りで地域と交流

高千っ子祭りは、簡単な遊びやゲームができる出店を異学年の縦割り班で準備し、お客さまを招いて楽しむ活動です。地域の保育園、中学校、介護施設や保護者の皆さんも参加し、交流を深める良い機会となっています。

活動では、役割を分担し協力して取り組む態度の育成やお客さまに優しい言葉で温かく接する気持ちを育てています。

## 2 いじめ見逃しゼロ集会の開催

いじめ見逃しゼロ集会は、いじめを見逃さない・許さない気持ちの醸成をねらいとしています。今年度は、仲間づくり活動とメッセージカード交換を行いました。

仲間づくり活動では、背中に貼った動物の絵だけを頼りに、言葉を言わずに同じ動物同士で集まる「仲間集め」と、2学期の思い出の絵をリレーしながら

描き足して完成させる「お絵描きリレー」を行いました。

どちらも児童同士が密接にかかわる活動で、できた時の連帯感や自己有用感・自己肯定感を高める活動となりました。

5・6年生は、高千中学校の集会にも参加し、いじめの一つである「いじり」について考えるなど、いじめ見逃しゼロに向けた意識を一層高めています。



仲間づくり活動の様子

学校教育課 ☎ 58-7351



# 世界遺産登録に向けて

## 鉾山町あいかわ・上町散策③

### 佐渡奉行所跡(その2)

佐渡奉行所は、慶長9(1604)年に大久保長安によって整備され、以降の佐渡の行政や司法、金銀山の管理を行う重要な施設でした。

日本海を見下ろす敷地内には、奉行の住む陣屋や御金蔵をはじめ、広間役長屋や武具蔵などが建てられました。また、北側の一段低い場所には、宝暦9(1759)年に寄勝場よしかたばとよばれる金銀山の選鉱・製錬を行った工場が整備され、ほかの奉行所にはない大きな特徴となっています。

奉行所の建物は、江戸時代に5回の火災被害を受け、その都度建て替えられ、建物の一部が昭和4年に国史跡に指定されました。しかし、昭和17年に6度目の火災で建物が焼失したことから、指定が解除されました。その後、平成6年に再度国史跡に指定されたことを受けて、保存整備事業が計画され、同年から平成10年までの5年間にわたる発掘調査が実施され、その調査成果が保存整備に活かされています。

なお、平成13年に御役所部分が、

平成16年には勝場が復原され、現在公開されています。



空撮による佐渡奉行所の全景

世界遺産推進課 ☎ 63-5136